

説 教

聖日礼拝

北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2023年1月8日（日）

主 題：「ここに愛がある」

—真実—

テキスト：第一ヨハネの手紙4章7～10節

**はじめに**

・お早うございます！

・前回私たちが第1ヨハネの手紙を学んだのは、2か月前でした（11/6' 22）しばらく間が空きましたので少し復習しましょう。第1ヨハネの手紙のテーマは、「愛」であります。天地を創造された神の本性は愛であると、ヨハネは何度も語り続けてきました。

・しかしながら初代教会時代にも、キリスト者と言いながらも、実はそうでない人たちがいました。つまり、その愛が分からない人、本物でないキリスト者がいました。しかし本物のキリスト者は違います。本当のキリスト者には次の2点があります。

- ① 本者のキリスト者は「信仰」と「行い」が一つである
- ② 本者のキリスト者には「神の子のしるし」がある

・そして、今日のテキストに入ります。ヨハネは再び兄弟愛を勧めています。その兄弟愛の根拠には、3点あると語っています。

**大切なポイント****1. 愛は神から出ている**

4:7 愛する者たち。私たちは互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのですが愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています。

・この「愛」はアガペー愛です。この愛は、本来の人間の心の中にはありません。この世にもありません。ただ神にのみ起源があります。この愛は「実」を結ばせる特有なものです。

・ガラテヤ人への手紙5章

5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、

5:23 柔和、自制です。

- ですから、この愛を持っている人は、すでに神から生まれ、神を知っている人です。
- 他方、「愛のない人」、すなわち愛を行なっていない人には、神は分かりません。神を知っている人が、愛を知る者です。このように、私たちが行う愛は、神の性質の実であり、反映であります。

#### 4:8 愛のない者は神を知りません。神は愛だからです。

- さらにヨハネは、愛の源が神にあるだけでなく、「神は愛だからです」と語り、神の本質は愛であると述べています。神のなされることは、全て愛の神から出ているということです。私たちの行動には混ざり物が入りやすいものです。しかし神は愛のみから出ておられます（神の本性が愛であるからです）。
- 私たちにとっては、これがどうして愛なのかと思わされることがあっても、「神は愛です」。完全ではない人間には、理解できないのです。

## 2. 愛は神の本質である

4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。

- ヨハネは、神の愛が示された、と述べています。その神の本質である愛を、神は一つの行為を通して示されました。それはひとり子であるイエス・キリストを世に遣わしてくださり、そのお方によっていのちを与えてくださいました。
- イエス・キリストは公生涯の終わりに、十字架にかかり死んでくださいました。しかし、このお方は死の壁を破り、復活してくださいました。神の子であることを示してくださいました。➡それは私たちがこのお方を信じて、いのちを得るためです。

### 『例 話』

- 米国の支援団体「サマリタンズ・パース」は、毎年クリスマス時期に約2億個の「シューボックス」を全世界の子どもたちに贈り届けています。中身は子どもの必需品はじめ、子どもたちが喜ぶ贈物、そして聖書のみことばカードが入っています。戦争下にあるウクライナの子どもたちは、その贈物を受け取り大喜びでした。
- 昨年のクリスマス時、米国人 Elizabeth Groff (エリザベス・グローフ) 女史 (28歳) は自らウクライナを訪ね子どもたちに直接手渡しました。彼女は

昔ウクライナの孤児院にいた時、同じくクリスマス「シューボックス」を手  
にしました。

- ・彼女は11歳の時、米国人養父母に迎えられ米国へ渡り、米国人家庭の養女  
となりました。しかし彼女はその時の感激を、今も忘れられないと語りま  
す。今回、彼女は感謝の心を持って母国を訪ね、子どもたちを慰問しまし  
た。
- ・「サマリタンズ・パース」は1993年、米国のフランクリン・グラハム師  
によって作られた支援団体（本部：ノースカロライナ州）で、世界170カ  
国以上の国々の子どもたちに「シューボックス」を贈り届けています。戦  
争、病気、貧困、自然災害の中にある学校、幼稚園、教会の子どもたちに、  
特にクリスマス時期に贈物を届けてきました。
- ・幼い頃に受けた「クリスマスの贈物」（愛の行為）は、エリザベス・グロー  
フ女史の心にしっかりと焼き付きました。成人となった彼女は、今自分が生  
まれた国ウクライナへ行き、自分の手で「クリスマスの贈り物」を届けまし  
た。彼女はクリスチャンとして、神から受けた愛の贈り物を、今度は自分が  
その愛を届ける人に変えられました。
- ・「愛は神の本質です。」神の愛を受けた人は、人からではなく、自分から喜  
んで受けた愛を届けるのです。ここに神の愛を見ることができます。感謝。

### 3. ここに愛がある

4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のため  
に、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるの  
です。

#### 1) 神の愛

- ・この10節の原文は、「ここに愛があるのです」という文章で始まります。  
つまり強調されています。愛は人間の側の行為ではありません。神の側でし  
てくださったことの中にあります。➡それは御子イエス・キリストを遣わし  
てくださったことです。
- ・「宥めのささげ物」とは、イエス・キリストの十字架の死によって、私たち  
の罪が許され神の怒りがおさまったことです。ここに、この十字架に「愛」  
があります。もう愛を求めて他を捜す必要はありません。

『例 話』

- ・1955年、米国インディアナ州に「人民寺院」(Peoples Temple)という宗教団体ができました。創立者 Jim Johns(ジム・ジョーンズ)は、貧しい黒人や、貧民層や、麻薬中毒者らの世話をし、無料食堂と託児所を運営しました。多くの良いことを行いました。それで人々は彼を「人民寺院の父」と呼びました。
- ・しかしながら、この「人民寺院」に変化が起こり始めました。彼が建てた宗教団体には、賛同する人々が集まり信徒数が増えていきました。信徒数が増えてくると、彼は自分をメシアであると宣言しました。そして自分を通して神を見ることができると言い、自分を神格化し始めました。さらに彼は信徒の財産を取り上げ、暴行をふるいました。
- ・騒ぎを聞いた警察や関係者がやってきました。彼はその調査に来た人々に銃を向け発砲し射殺しました。そればかりか「人民寺院」にいた信者(子どもを含む)を、集団自殺へと導いてしまいました。結果、918人が命を落としました。実におそろしい衝撃的事件で、世に大きな衝撃を与えました。
- ・ここに恐ろしいカルト集団の実態を見ます。愛のない宗教、愛のない論理、愛のない規律が、どれほど恐ろしいものであるか教えてください。この団体の名称は「Peoples Temple of the Disciples of Christ」(キリストの弟子である人民寺院)でした。(今もその記録はYouTubeで見えることは可能)
- ・このようにカルト集団は、聖書を使い、イエス・キリストの名を使い、人々を惑わしています。カルト集団は昔も存在し、今も存在しています。米国だけではありません。いいえ、世界のあちこちにあります。ここ日本にもあります。人々の心を惑わす恐ろしい、誤った教えです。
- ・私たちは聖書を正しく知らなければ、どこに本当の愛があるか不明であります。ヨハネは、ここ10節で「ここに愛があるのです」と語りました。
 

4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

## 2) 愛に生きるキリスト者

- ・はじめに本物のクリスチャンには、特徴が2点あると語りました。
  - ① 本者のキリスト者は「信仰」と「行い」が一つである
  - ② 本者のキリスト者には「神の子のしるし」がある
- ・2023年、私たちは新しい年に入りました。どんな年になるでしょうか・・・?  分かりません!  
分かることは、私たちは神の愛の内に生きる者であることです。

・私の好きな讃美歌に「明日を守られるイエス」がある。次はその歌詞です。

1. 明日はどんな日か わたしは知らない

晴れか嵐か 曇りになるか  
わたしは明日を心配しない  
イエスがわたしを守られるから  
明日はわたしには わからないけど  
明日を守られる イエスがおられる

2. 日々のあゆみは 日々に明るく

かたのおもには 次第に軽い  
輝く太陽 涙かわかし  
仰ぐ空には虹の かけ橋  
明日はわたしには わからないけど  
明日を守られる イエスがおられる

・私たちは自力で生きる者ではありません。でも、心配は無用です。

イエスが完全な愛を与えてくださり、私たちはその愛の中で生きるものです。「ここに愛がある」のです。私たちは愛の中に生き、愛を与える聖徒とされました。誠に感謝です。ただ神の恵みです。

・2023年という新しい年、私たちの歩みが、私たちの存在が、「ここに愛がある」という年となりますように、心から願います。神の愛を受けた者が、神の愛を証しする者となります。

4:7 愛する者たち。私たちは互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているのですが愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています。

・では、具体的にどう生きるべきでしょうか。

明日をお守りくださるイエスがおられるのですから、明日はどんな日になるか分かりませんが、イエスへの信仰を持って歩みましょう。それには、お守りくださるイエスを知ることから始まります。▶日々の「デボーション」

- ① 日々、心を静めて聖書を読むこと
- ② 主の御心を知ること（学び）
- ③ 主の御声を聞くこと（励まし、導き）

\* これらの基本的なことに、私たちは神との会話（祈り）を忘れてはいけません。

新年が主イエスとの親しい交わりの時と、なりますように、切に願います。

ま と め
-------

主 題：「ここに愛がある」

—真実—

- 神の愛の内を歩むことは幸いです。神の愛、それはどこにあるでしょうか。ヨハネは言いました。
- 4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。
- 大切な点；
  1. 愛は神から出ている (4:7)
  2. 神の愛はイエスによって示された (4:9)
- 私たちは今年、神に感謝の心を持って、愛に生きるキリスト者とさせていた давайтеしょう。

\* God bless you!